

2020年度事業計画(案)

- 1) 鋼製支承の性能向上を図ると共に条件に合った標準化を進め、広範囲なニーズに対応可能な支承の開発を進める。
- 2) ゴム系支承の開発を促進し、標準化を進めることによって、コスト縮減・LCCに寄与する。
- 3) 維持・補修の簡便な支承の研究開発に努める。
- 4) 「支承の若返り工法」の品質や機能の向上を図り、当工法の普及拡大を図る。
- 5) 創立50周年を期に支承技術に関する広報活動を積極的に展開し、協会の社会的認知を高めるよう努める。
- 6) 支承等の点検・維持・補修の保全技術の統一基準を図り、関係者育成のための講習会等を実施する。
- 7) 伸縮継手の耐久性、漏水防止、補修方法等の開発を進め、環境保全への貢献を図る。
- 8) 新技術（インテリジェント支承、支承部品落下防止対策）を広め、事業として継続可能に務める。
- 9) 新規会員の加入を計り、協会の運営基盤の安定化を図る。
- 10) 橋梁調査会、道路協会、土木学会、土木研究所、寒地土木研究所、NEXCO、都市高速会社、ゴム支承協会との関係を緊密にし共同研究等により技術の向上を図る。
- 11) 会議開催については①三密を避けて行う。②ネットワークによる開催に不都合が無い限り切り替える。
- 12) 一般社団法人として、公益事業並びに収益事業を推進し、長期にわたり継続可能な体制を整備する。

2020年度収支予算書(案)

2020年4月1日から2021年3月31日まで

単位：千円

科 目	予 算 額	2019年予算額	増 減	備 考
I.事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
①会費収入	31,472	30,295	1,177	
②講習会収入	6,000	6,000	0	
③支承調査収入	0	500	△ 500	インテリジェント落下防止、溶接試験ゴム協会負担
④共同研究事業収入	100	0	100	
⑤雑収入	0	0	0	
事業活動収入計	37,572	36,795	777	
2. 事業活動支出				
①事業費支出	[27,230]	[24,164]	[3,066]	
役員報酬支出	500	500	0	
給与手当支出	2,860	3,413	△ 553	
福利厚生費	240	240	0	
退職給与引当金支出	0	150	△ 150	
調査研究費支出	6,520	4,800	1,720	インテリジェント支承の支払い分を加算
資料購入支出	457	571	△ 114	
会議費支出	954	974	△ 20	
印刷製本支出	0	0	0	
旅費交通費支出	2,050	2,050	0	
委託費支出	0	0	0	
刊行物発行費支出	0	0	0	
通信運搬費支出	918	920	△ 2	
諸会費支出	360	360	0	
その他行事費支出	1,500	0	1,500	50周年記念行事
講習会開催支出	4,000	3,000	1,000	
広告費支出	1,379	1,694	△ 315	
支承PR費支出	1,160	1,160	0	
賃借料	3,672	3,672	0	
交際費	400	400	0	
消耗品費	210	210	0	
雑費	50	50	0	

単位：千円

科 目	予 算 額	2019年予算額	増 減	備 考
②管理費支出	[11,156]	[11,803]	[△ 647]	
役員報酬支出	500	500	0	
給与手当支出	2,866	3,413	△ 547	
福利厚生費支出	618	618	0	
退職給付引当金支出	0	100	△ 100	
会議費支出	890	890	0	
旅費交通費支出	50	50	0	
委託費	150	150	0	
通信運搬費支出	590	590	0	
消耗品費支出	260	260	0	
印刷製本費支出	210	210	0	50周年記念号
総会費	800	800	0	
賃借料支出	3,672	3,672	0	
租税公課支出	200	200	0	
交際費支出	200	200	0	
減価償却費	50	50	0	
雑費支出	100	100	0	
事業活動支出計	38,386	35,967	2,419	
事業活動収支差額	△ 814	828	△ 1,642	
II 投資活動支出の部				
什器備品費支出	0	0	0	
退職給与引当資産取得支出	0	0	0	
III 予備費支出	0	0	0	
当期収支差額	△ 814	828	△ 1,642	
前期繰越収支差額	16,072	15,244	828	
次期繰越収支差額	15,258	16,072	△ 814	